

執行部の活動に期待

一般学生との繋りに重点を

昭和三十一年の夏、学生生活は、戦時体制の厳格な管理の下で、いかにして一般学生との繋りに重点を置くか、これが執行部の活動の中心となる。執行部は、この一年を通じて、学生生活の向上と、一般学生との繋りに重点を置くべきである。...

自治活動に厳しい批判

本紙の世論調査の結果から

世論調査の結果、自治活動に対する批判が顕著である。調査対象の学生は、自治活動の現状に満足せず、改善を求めた。特に、執行部の活動に対する期待が高まっている。...

自治委員会の認識不足

自治委員会の活動は、現状では認識不足が顕著である。委員会の役割や目的を十分に理解していない学生が多い。これを改善するためには、教育機関での啓蒙活動が必要である。...

尾高教授を憶う

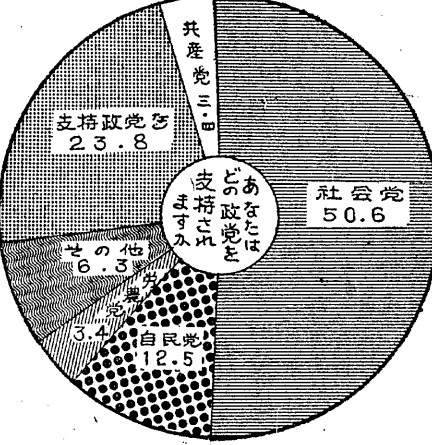
中谷 敬寿

尾高教授の業績を振り返ると、その学問的貢献は計り知れない。彼は、戦時体制の中でも、学問の自由を堅持し、教育の発展に尽力した。彼の精神は、我々学生に大きな教訓を与えている。...

四分の一が支持政党なし

社会党の目位依然変らず

世論調査の結果、四分の一の学生が支持政党なしと回答した。社会党の支持率は依然として最も高いが、他の政党の支持率は低く、無党派層が増えている。...



本学学生の支持政党をグラフで表示したもの

時評

文学部 井上吉次郎 教授

「一つの暴力」

文学部 井上吉次郎 教授

全学連再加盟を支持

わからぬが約半数

全学連再加盟問題に対する学生の支持率は、約半数に達した。しかし、その理由が不明な学生も約半数に達している。これは、学生間の意見の相違が依然として大きいことを示している。...

学友会と私

前執行委員 山田 大

学友会という組織は、学生生活にどのような影響を与えているか。私は、前執行委員として、その役割と課題について考えてみたい。...

日本生命

生命保険の重要性を説く。日本生命は、あなたの未来を守るためのパートナーです。

井物一式

大勢お側

電話 式(64) 2267

シボレー

香水調です

シボレーハートニク

お酒にもタバコにも

佐伯食堂

学園のユートピア

疲れをふつとばす!

高單位綜合ビタミン・ミネラル剤

ポポソ-S錠

教育とテレビ

斎藤論二

「教育とテレビ」……米国の教育界

米国の教育界は、テレビの普及に伴って、従来の教育方法に大きな変革を遂げようとしている。テレビは、従来の教科書や講義よりも、より効果的に知識を伝達する手段として、教育界に受け入れられている。

テレビ教育の利点は、まず、時間と空間の制約を打破できる点にある。従来の授業は、特定の時間と場所に限定されていたが、テレビを通じて、いつでもどこでも教育を受けることができるようになった。これは、特に遠隔地や働き盛りの人々にとって、大きなメリットである。

また、テレビは、視覚的教材を豊富に提供できる。教科書だけでは表現しきれない、立体的な現象や実験の様子を、生々しく伝えることができる。これは、学習者の理解を深め、興味を喚起するのに非常に効果的である。

しかし、テレビ教育にも課題は存在する。テレビはあくまで「伝達手段」であり、学習の本質である「理解」と「思考」を促すには、教師の指導や学習者の主体的な取り組みが不可欠である。また、テレビ番組の質や、視聴者の集中力の問題も、今後の課題として挙げられる。

結論として、テレビは教育の革新を促す強力なツールである。しかし、その効果を最大限に引き出すためには、従来の教育方法との適切な組み合わせと、学習者の意識改革が必要である。

牧歌的なわが青春

ノムス 我が青春のリアンヌ

青春は、牧歌的なものである。それは、理想と希望、情熱と夢の季節である。我々の青春は、リアンヌの如く、静けさと美しさを兼ね備えている。

あの夏の日、草原を歩いた。空は青く、風は涼しい。心は、どこまでも自由に飛翔した。それは、人生の中で最も輝かしい瞬間の一つであった。

青春は、時に苦しみをもたらす。しかし、それは成長のための試練である。乗り越えれば、より美しい景色が待っている。我々の青春は、涙と笑顔の連続である。

今、振り返ると、あの青春の思い出は、心に残る。それは、人生の宝である。我々の青春は、永遠に輝き続ける。

自由論

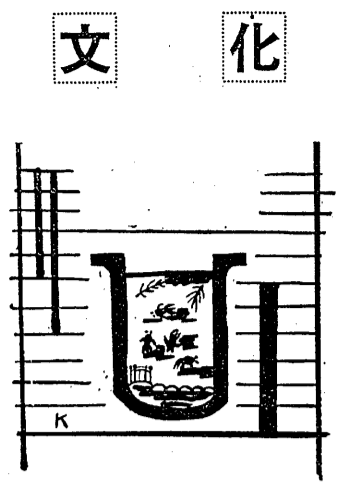
太陽の季節に反発して

自由とは、単にやりたいことをやることではない。それは、責任と権利を伴ったものである。自由を享受するためには、他者の自由を尊重する必要がある。

現代社会は、自由を叫びながら、時に自由を侵蝕している。個人の権利を守るためには、健全な自由論の構築が必要である。

自由は、社会の発展の原動力である。しかし、無制限の自由は、社会の混乱を招く。我々は、責任ある自由を求めなければならない。

自由論は、常に議論の的である。しかし、それは、社会の進歩を促すための重要な課題である。我々は、自由の真の意味を追求し続けるべきである。



カット・初夏・丸岡忍

文化

「遊女と法廷」 春原源太郎

遊女と法廷、一見すると対極にある存在である。しかし、その背後には、同じく人間の欲望と苦悩が潜んでいる。春原源太郎の『遊女と法廷』は、その対比を巧みに描き出した傑作である。

遊女は、社会の底辺に生きる者である。しかし、彼女たちは、愛と情を求め、時には法廷にまで足を運ぶ。法廷は、正義と権力の場である。しかし、そこには、人間の弱さと欲望が露わになる。

春原源太郎は、この対比を通じて、人間の本性を鋭く抉り出した。『遊女と法廷』は、読者に深い感動と思考を喚起する力作である。

教師の憂鬱

寛田知義

教師の憂鬱は、現代社会の縮図である。生徒の個性の目覚め、教育制度の硬直化、社会からの圧力など、多くの要因が重なって生じている。

教師は、常に生徒の成長を期して努力している。しかし、時には無力感や挫折感を覚える。これは、教師の大きな悩みである。

教師の憂鬱を軽減するためには、まず教師自身のメンタルケアが重要である。また、教育現場での協働や、社会からの理解と支援も必要である。

教師は、社会の未来を担っている。その憂鬱を乗り越え、生徒の未来のために尽力してほしい。



研究室 高橋盛孝 教授

今秋民族学研究の旅

今秋、民族学研究の旅に出る。世界各地の文化と風土を体験し、人類の共通の文化を探る。

民族学は、人類の起源と発展を研究する学問である。その研究を通じて、我々の文化の根源を知ることができる。

今秋の旅は、知識の探求だけでなく、心身の鍛錬でもある。それは、人生にとって貴重な経験となる。

民族学研究の旅、今秋はぜひ参加してほしい。

力強い記録映画「カラコルム」

映画評「カラコルム」

カラコルムは、力強い記録映画である。その雄大な自然と、人々の生活の姿をリアルに描き出している。

カラコルムは、中央アジアの雄大な自然を舞台にした記録映画である。その雄大な自然と、人々の生活の姿をリアルに描き出している。

この映画は、視覚的に非常に美しく、かつ教育的価値も高い。ぜひ一度観てほしい。



カラコルム

吉原

吉原は、東京の繁華である。その歴史と文化は、数百年にわたって受け継がれてきた。

吉原の文化は、多岐にわたる。歌舞伎、落語、お祭りなど、様々な文化が息づいている。

吉原を訪れることは、日本の伝統文化を体験する絶好の機会である。ぜひ一度吉原を訪れてほしい。

合同写真展

会場 心斎橋フォートギャラリー

期日 6月19日-24日

主催 大阪工大三部カメラクラブ
関西大学 二部写真部
後援 小西六写真工業株式会社

迅速・安全

御進物承配

東 東京
西 大阪
南 京都
北 名古屋

松坂屋

月光の砂丘にもだえる抱擁!

三橋達也 大坂志郎 伊藤久信

15日 日曜

カラコルム

カラコルム・ヒンズークン探検の記録

6月16日(土) 大公開

梅田・南・大塚・阿波・京都宝塚劇場

青春の音

監督 関川秀雄

脚本 山形雄策

佐田啓二 小松トシ子 若山セツ子 片山明彦 渡辺文雄 岡田英子 浦辺条子 佐野周二

7月2週